

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
農業経営学	国際アグリビジネス 専攻 博士前期 課程		
<p>1. 近年日本からの農産物・食品の輸出が増加傾向にあります。その理由と日本国内の農業に与える効果を説明しなさい。 Exports of agricultural and food products from Japan have been increasing in recent years. Explain the reasons for this trend and the effects on agriculture in Japan.</p> <p>2. 経営学における SWOT 分析を説明するとともに、それを使う場面について簡単に説明しなさい。 Explain SWOT analysis in business administration and briefly describe the situations in which it is used.</p> <p>3. 農協などによる農産物直売所を利用することによる生産者のメリットと消費者のメリットを説明しなさい。 Explain the benefits to producers and consumers of using farmer's markets under the management of Agriculture Cooperatives in Japan.</p> <p>4. 現代の農業経営者に必要とされる経営者能力の向上方法を述べるとともに、必要とされる管理能力について説明しなさい。 Explain how to improve the managerial skills needed by modern farm managers and explain the management skills required.</p>			

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
農業経営組織論	国際アグリビジネス学専攻 博士前期課程		

1. ハーツバーグの 2 要因モチベーション理論の特徴と、組織改善に向けた示唆について述べよ。

2. 農業経営における法人化のメリット・デメリットについて説明せよ。

3. 農業経営にとっての経営多角化の効果と課題について論ぜよ。

4. 水田農業における集落営農法人の役割について論ぜよ。

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
農業経営管理論 (経営管理研究室)	国際アグリビジネス学専攻 博士前期 課程		

1. 農業法人 A 社の会計期間は 3 月末日を決算日とする 1 年間であり、A 社が保有する固定資産は次の通りである。A 社の 2023 年度 (2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで) の減価償却費の合計額を示しなさい。なお、計算過程も示すこと。The fiscal year (FY) of farm corporation A is from 1st of April to the end of March. The followings are the fixed assets owned by A corporation. Calculate the total depreciation expense of FY2023, which is from 1st of April 2023 to 31st of March 2024. The calculation process should also be shown.

種類 category	取得価額 (円) acquisition cost	耐用年数 (年) useful life	償却方法 depreciation method	取得年月日 the date of acquisition
建物 building	6,000,000JPY	30year	定額法 (残存価額 0) straight line (residual value is zero)	2019 年 4 月 1 日 1 st of Apr. 2019
機械 machine	3,000,000JPY	6year	200%定率法 fixed percentage (200%)	2023 年 4 月 1 日 1 st of Apr. 2023
備品 equipment	1,000,000JPY	4year	200%定率法 fixed percentage (200%)	2022 年 4 月 1 日 1 st of Apr. 2022

注 Note):200%定率法においては、償却率=(1/耐用年数)×2.0 である。In case of fixed percentage method (200%), depreciation ratio is calculated as (1/useful life)*2.0.

2. 農業経営がかかえるリスクとリスク管理について説明しなさい。Explain the risks in farm business and its risk management.

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
農業経営管理論 (経営情報研究室)	国際アグリビジネス学専攻 博士前期課程		

問題：次の表はある線形重回帰分析の結果である。次の設問に答えよ。

<p>1) 目的変数を y として、重回帰モデルを式で示せ。なお、切片や偏重回帰係数は表の値を用いること。</p> <p>2) 重回帰分析の分散分析において p 値は有意であった。この結果が何を意味するか答えよ。</p> <p>3) 表から独立変数 x_1, x_2 は目的変数 y に対してどのように影響するか考察せよ。</p> <p>4) 修正決定係数は 0.82 であった。この意味を答えよ。</p> <p>5) アグリビジネスにおいて重回帰分析が応用可能な事例を一つあげ、簡単に説明せよ。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">係数</th> <th style="width: 20%;">標準誤差</th> <th style="width: 10%;">t 値</th> <th style="width: 10%;">p-値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(切片)</td> <td>-198.06</td> <td>24.7</td> <td>-8.0</td> <td>0.0002</td> </tr> <tr> <td>x_1</td> <td>33.96</td> <td>8.3</td> <td>4.1</td> <td>0.0063</td> </tr> <tr> <td>x_2</td> <td>15.65</td> <td>7.7</td> <td>2.0</td> <td>0.0870</td> </tr> </tbody> </table>		係数	標準誤差	t 値	p-値	(切片)	-198.06	24.7	-8.0	0.0002	x_1	33.96	8.3	4.1	0.0063	x_2	15.65	7.7	2.0	0.0870
	係数	標準誤差	t 値	p-値																	
(切片)	-198.06	24.7	-8.0	0.0002																	
x_1	33.96	8.3	4.1	0.0063																	
x_2	15.65	7.7	2.0	0.0870																	

【解答欄】

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 2 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
農業経営学	国際アグリビジネス専攻 博士前期課程		

1. 農業経営において想定されるリスクを示して、それぞれのリスクの内容を簡単に説明せよ。
Explain the risks that can be expected in agricultural management and briefly elaborate each risk.

2. マイケル・ポーターが提唱した「3つの基本戦略」を示すとともに、それぞれの内容を説明せよ。
Explain the 'three basic strategies' proposed by Michael Porter and elaborate the content of each.

3. 日本における農業法人経営の動向を示すとともに、その長所について説明せよ。
Explain the trends of agricultural corporation management in Japan and elaborate its advantages.

4. 農業の生産現場におけるスマート農業技術について説明するとともに、その課題についても説明せよ。
Explain the smart agricultural technology used in agricultural production sites and elaborate its issues.

大学院入学試験問題用紙

2025年度2期

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
農業経営組織論	国際アグリビジネス専攻 博士前期課程		

1. 組織の中で発揮される取引・双方向型リーダーシップの特徴について説明せよ。
2. 昨今の水田農業において、組織化が目指されている理由について述べよ。なお、その際に、①近年の水田農業を取りまく担い手の状況、②水田農業を組織化することのメリットに必ず言及すること。
3. 野菜作の産地化と生産組織の役割について論ぜよ。
4. 農地保全の観点から見た都市農業政策の問題点について論ぜよ。

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 2 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
農業経営管理論 (経営管理研究室)	国際アグリビジネス学専攻 博士前期 課程		

1. How to calculate the annual principal and interest payment for a loan of \$100,000 with these terms: annual equal payback payments, 10 years, and 5% interest? Please show the formula. Actual amount doesn't have to be calculated. (次の条件で 100,000 ドルを借り入れる場合、年ごとの返済額はどのように計算するか示しなさい: 年ごと均等払い、借入期間 10 年、利率 5%。なお、計算過程を示すこと。金額を算出しなくても良い。)

2. Explain how do farm managers and plant managers differ in their management functions? (農場経営者と工場経営者は、経営機能の点でどのように異なるか説明しなさい)

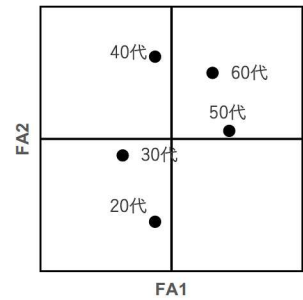
大学院入学試験問題用紙

2025 年度 2 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
農業経営管理論 <small>(経営情報研究室)</small>	国際アグリビジネス学専攻 博士前期課程		

問題：ある農産物加工食品の顧客満足度を調査するため、20代～60代の男女250人ずつに対しアンケート調査を実施した。満足度について因子分析を行なったところ二つの共通因子FA1, FA2が見つかった。FA1は「味、香り、鮮度」の因子負荷量が正で重要、FA2は「価格」の因子負荷量が正で重要であるとわかったとき、以下の設問に回答せよ。ただし、満足度は不満、やや不満、やや満足、満足を1～4の数値に割り当てて回答しているものとする。

- 1) FA1、FA2の共通因子にそれぞれ名前を付けよ。またその理由を示せ。
- 2) 全回答者の因子得点を計算し性別と年代でクロス集計した。性別と年代で共通因子に有意差があるか否かを調べる時、どのような統計検定が最も妥当か、理由をつけて回答せよ。
- 3) FA1の男性平均と女性平均を比較したところ、女性の方が大きく有意だった。これは何を意味するか答えよ。
- 4) FA2の男性平均は女性平均より大きく有意であった。これは何を意味するか答えよ。
- 5) 年代ごとの因子負荷量を平均しグラフで表示したところ右の図のようになった。図から考察できることをできるだけ示せ。※補足：図中の原点は必ずしもゼロではないとする。



【回答欄】